

時事文翻訳添削ノートから

私は毎年授業で時事文翻訳の添削を行っています。翻訳に挑む学生さんたちに具体的な事例に沿って役に立つ情報をご紹介します。

情報 13

P38の7行目に“部分”があります。そのまま名詞にかかって「一部の」という意味で使われます。それに対し“一部”は小説や映画に使われる数量詞で、こちらは「一篇の小説」「一本の映画」となります。

字面だけ見て、日本語の意味に惑わされる失敗はたくさんありますが、“所有东西”「あらゆる物」を「所有物」とする間違いもよくあります。

情報 14

P40の下から2行目にある“正确”も似たような例と言えましょう。

日本人はどうしても「正确」と字面に引っ張られて訳してしまいますが、これはむしろ「正しい」と訳したほうが原義に合っています。“正确”の反義語は“错误”で、日本語の「正确」に対しては“精确”という言葉の方がよくマッチします。

似たような紛らわしい例に“和平”があります。よくそのまま「和平」と訳す学生さんが多いのですが、日本語の「和平」は「中東和平」とか「カンボジア和平」というように、むしろ停戦の意味。中国語では“停火”と言います。

中国語の“和平”は“世界和平”などと使うように、「平和」の意味なのです。